

稲吟OB会会報

No34



① 在早稲田

早稲田大学稲吟 OB 会

目次

稲吟 OB 会 副会長挨拶	2
副会長、関西支部支部長を仰せつかって	
「震災」によせて	
早稲田大学稲吟 OB 会 副会長 関西支部支部長 昭和 62 年卒 行 俊昭	
早稲田大学稲吟 OB 会 副会長 昭和 48 年卒 松村哲郎	
活 動 報 告	5
2011 年度定例総会報告	
2011 年度 新年会	
早稲田大学稲吟 OB 会 副会長・事務局 平成 4 年卒 菅原 均	
稲吟会情報	8
新歓報告 夏合宿案内	
早稲田大学稲吟会 第 56 代執行部 幹事長 紺谷弘毅	
稲吟会・OB 会交流会 のご案内	9
事務局から	10



15 号館（西楼）



稲吟 OB 会 副会長挨拶

副会長、関西支部支部長を仰せつかって

早稲田大学稲吟 OB 会 副会長
 関西支部支部長
 昭和 62 年卒 行 俊昭

昭和 62 年卒の行（ゆき）です。この度、稲吟 OB 会の副会長、また関西支部支部長を仰せつかりました。元より微力ではございますが、本会そして稲吟会の発展のために努めて参る所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

この機会に、稲吟会に接して以来、自分の交友関係や様々な交歓の場に、稲吟会そして詩吟がどのように立ち現れてきたか、拙文ながら若干記し、自己紹介を兼ねたご挨拶とさせていただきます。



昭和 58 年 4 月早稲田大学の一員となり、第 30 代のメンバーとして稲吟会活動を開始いたしました。第 30 代ということで、執行部の時には記念大会があるとして、折に触れ諸先輩方からお話を伺い、また同期の間でもどのような大会とするかについて話をしていたことを昨日のこのように思い出します。執行部時代は、副幹事長と指導幹事を担当し、30 周年記念大会の稲吟会愛唱詩「吟友に示す」を松浦友久先生に作っていただき、大川吾風先生に節調をつけていただきました。また、昭和 60 年の拓殖大学総長杯争奪全国学生競吟大会に、29 代の天野先輩、31 代の杉浦君と出場し、団体の部で優勝を得たことも印象深い思い出です。個人の部でいただいた小さなカップは、今も部屋にあり、まだ幼い娘が「これ何？」と手にとったりしております。

「稲吟会とは何のために存在するサークルであるのか、どのような人々によって構成される組織であるのか」について、殊に 3 年次では考えていたように思います。この問題は、それまでの先輩方、既に OB 会のメンバーとなった皆さん、また現役の方々も常に反芻するテーマではないでしょうか。このことを真剣に皆が考えるからこそ、稲吟会が現在までその活動を止めることなく、現在においても実在しているのであると思います。

卒業し、大阪に本社を置く会社に勤務することとなって以来、関西支部の先輩方には、忘年会の機会や、また「近江八景の図に題す」の練習の機会（記念大会での関西支部発表の吟題です）でご指導をいただきました。このような時に連れて行っていただいたお店は、会社の同僚や、稲門のメンバーで使わせていただくこともあり、ある店では、稲吟会で習い覚えた口上を入れて、会社の稲門会のメンバーと共に「人生劇場」を唄ったこともありました。

平成 3 年から 2 年間米国に滞在しましたが、所属していたロースクールで、ヨーロッパ、アジア、南米等からの学生 50 人ぐらを集める JAPAN PARTY を日本人留学生で企画したことがあります。空手に心得のある者は型を披露し、そして私は詩吟をしようということになり、「富士山」を吟じました。「ブラボー！」と拍手を頂く中で、フランス人留学生 1 名には、終始、笑われてしまっていました。彼女は、吟じ出した私の顔を見た途端、笑いが止まらなくなり、声こそ上げなかったものの、吟詠中、口を押さえ通しであったのです。彼女は後で「申し訳ない。」と言いつつも、どうも「なぜ、この人は、こんな真面目腐った顔で、また鼻の穴を膨らませて、一生懸命、声を出しているのだろう？」という思いとともに笑いが込み上げてきた様子でした。日本でも、同じような経験が一度あるのですが、どうも詩吟に触れたことのない人にとっての在り得る反応の一つが、吟者の表情と共にくる「可笑しみ」というものです。

もちろん、詩吟の節調、言葉（殊に和歌を吟じた時ですが）、声の伸びについて、素晴らしい、と聞いてくださる方も多く、お世辞であったとしてもそれは嬉しくて、外国ではニューヨーク、中国曲阜（きょくふ）や上海でのパーティ、会社の歓送迎会、職場旅行、異業種交流会の打ち上げ、親戚の結婚式等、色々な場で漢詩や和歌を吟じてきました。このような機会により、私について知っていただくと共に、その場にいる人との間の心の壁を少しでも低くし、距離を縮め、人との繋がりを深めることができてきたように思います。（大阪商工会議所からの中国への視察団の懇親会で詩吟をした時は、ご一緒した某商社の部長の方が、偶然にも稲吟会同期の外口君の上司で、私が外口君の名前を出すや、携帯で彼を呼び出したということもありました。）

また、人を前にする折だけでなく、ニューヨークのセントラルパークや、鹿児島島の桜島、蔵王の露天風呂、秋田の象潟・蚶満寺（かんまんじ）の境内、吉田松陰の生家跡でと、その時の心情の赴くまま、また風景、故事来歴が想起させるに任せ、1人吟じてきました。

私は、詩吟は自らの心を自由にすると共に、聞く人の心も詩興と共に開放し、共感を呼び起こすものではないかと考えております。今までの詩吟にまつわる様々な経験は、私にこのような思いを強くさせてきたものです。またこれは、稲吟会そして OB 会での人々との巡り会い、そして詩吟との交流がなければ得られなかったものであります。

稲吟 OB 会の活動が、また稲吟会現役の皆さんの活動が、それぞれの立場で人々の繋がりを作り上げていって欲しいと思っています。このような活動が永続するために、僅かなりとも貢献し、恩返しができればと思っている次第です。



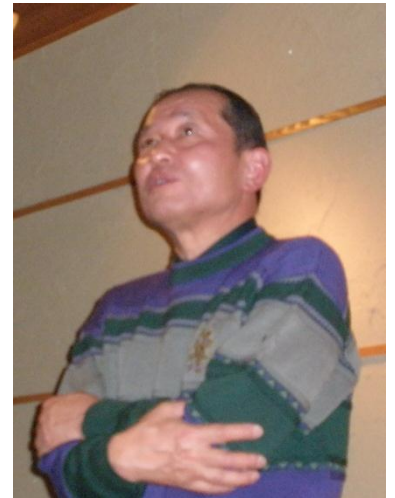
1999 年 4 月 野中杯ゴルフコンペにて 関西支部の方々と

「震災」によせて

早稲田大学稲吟 OB 会 副会長
昭和 48 年卒 松村 哲郎

三月十一日（金）、本田さん（S 4 2 卒）は宮城県気仙沼市で、「東日本大震災」に遭われました。5 / 5（祭）～5 / 6（金）に、一泊二日で中部さん（S 4 7 卒）と気仙沼に向かいました。

東北新幹線の岩手県一関で降り、レンタカーを借り、奥さんの実家で本田さん、奥さん、息子さんとお会いしました。無事であったことを喜び、本田さん、奥さん、中部さんと話をしているうちに、自然と涙が溢れて来ました。お伺いした時、昼は店舗・住宅の片付けをし、夜は避難所でお年寄りの世話をしているとお聞きしました。お忙しいなか、車で港を含め近郊を案内してもらいました。気仙沼港で最初に感じたのは、“海の香りがしない”という事です。港は瓦礫の山と、船が打ち上げられた状態でした。中部さんは亡くなられた方々を偲び、港から海に向かい頭を下げ冥福を祈っていました。



帰京後、本田さんからお便りを頂きました。原文のまま載せさせていただきます。

「今回の震災は津波・火災等映画の一シーンを眺めている様で、現実のものとは信じ難い惨状でした。三月十一日、友人・知人・縁故等多くの方々を一瞬のうちに失いました。

かぞえの古希を目前にして、人生、後はオマケの心積りでおりましたが、孫子の代の礎を築くため、腰を据えて頑張らねばならぬと、一つの大目標に向かって邁進する事にいたしました。これも一方ならぬ稲吟OB会諸兄の温かいお気持ち、私共家族の心の支えになり、今日に至っております。

幸と申しますか、自宅、八日町・本店舗住宅は外観のみ残りでしたが、延べ二百五十人余のボランティアの皆様のお力添えをいただき、店舗は五月二十日開店の運びとなりました。座敷等の大工工事、設備工事は未だ手付かずの状態です。当気仙沼の復興もこれから十年、二十年の歳月が必要かと推察しますが、一步一步進むのみだと思っております。」

お便りの一部を抜粋させていただきました。

仙台市にお住まいの長野さん（S 3 9 卒）の自宅には翌日伺いました。電気、水道が止まり 4 / 7（木）の余震で家の壁等にヒビが入ったそうです。美味しい手打蕎麦をご馳走になりました。仙台、一関は 3 / 1 1（金）よりも 4 / 7（木）の余震の方が被害が大きかったようです。

一関に住む畠中君（S 5 3 卒）も自宅・店舗共に被害を受けました。既に予定が入っており、お会い出来ませんでしたがお礼状を頂いております。

今回の件につきましては、時間的な制約と約 5 5 才強の歳の開きもあり、連絡する年代を限らせて頂きました（畠中君の場合も葉書を出した直後に詳しい状況を知った次第です）

皆様がそれぞれの方法で、直接・間接的に被災者の方々を支援している話を伺っております。また、多くの諸先輩・後輩の皆様から手紙・葉書・メール・電話等をいただき、心より感謝致しております。本当に有難うございました。



撮影：松村副会長

活動報告

早稲田大学稲吟 OB 会 副会長・事務局

平成 4 年卒 菅原 均

2011 年度定例総会報告

2011 年 2 月 20 日（日）16:00～17:30 早稲田奉仕園 キリシト教会館 6 階『1 号室』にて 9 人の OB 会員の参加を戴き、定例総会が行われました。冒頭 55 周年大会を踏まえ、60 周年に向けての大竹会長からの挨拶の後、本会報の巻頭でご挨拶戴いた行副会長の就任、現役新勸緊急支援の予算など、下記内容が承認されました。

1. 2009/2010 年度活動報告

★2009 年（平成 21 年）

10 月 10 日 稲吟 OB 会会報 31 号発行・会費請求 事務局

10 月 24 日 稲吟会第 54 回発表会 葛西区民館

★2010 年（平成 22 年）

2 月 11 日 稲吟 OB 会定例総会 稲吟 OB 会新年会

3 月 3 日～7 日 稲吟会春合宿

3 月 25 日 稲吟 OB 会会報 32 号発行・会費請求 事務局

3 月～4 月 稲吟会新勸支援（ポスター1000 枚・チラシ 5000 枚作成 その他）

8 月 28 日 稲吟会・OB 会交流行事（高田馬場 中華料理 石庫門）

8 月 31 日～9 月 5 日 稲吟会夏合宿

9 月 10 日 稲吟 OB 会会報 33 号発行 創立 55 周年記念大会参加応募・会費請求事務局

10 月 30 日 創立 55 周年記念大会（発表大会・祝賀会）

12 月 10 日 稲吟 OB 会会報（55 周年記念号『稲吟』）発行・会費請求 事務局

2. 2009/2010 年度決算報告 同会計監査報告

2009/2010 年度（2009/10/1-2010/12/31）通常会計 決算案

収入の部			支出の部			
費目	予算案	決算	費目	前年度決算	予算案	決算案
前年度繰越金	590,414	590,414	対稲吟会支援	120,000	120,000	120,000
年会費*	550,000	1,258,000	通信費補助 （対稲吟会）	60,000	60,000	60,000
寄付金	0	0	稲吟会新勸緊急支援（1）		250,000	237,280
			通信費	78,400	120,000	127,187
			会報製作費	5,300	130,000	126,408
			広報関係費	3,390	10,000	3,390
			行事関係費	41,090	200,000	90,658
			慶弔費	0	50,000	11,500
			役員会議費	10,160	50,000	45,000
			事務局経費	11,371	100,000	8,871
			記念大会特別 会計繰入	500,000	0	0
			地方等支援	40,000	40,000	0
			振込手数料	1,260	5,000	5,335
			予備費	0	5,414	0
			次年度繰越金	590,414	0	1,012,785
合計	1,140,414	1,848,414	合計	1,461,385	1,140,414	1,848,414

※年会費 1 2 7 名

記念大会特別会計 決算案

収入の部			支出の部			
費目	55周年予算案	決算	費目	50周年決算	予算案	決算案
前大会繰越金	2,568,338	2,568,338	祝賀会費用(会場・ケータリング)	850,000	1,200,000	1,000,000
2007/08年度通常会計より繰入	1,000,000	1,000,000	祝賀会関係費(事務・小物)	30,619	30,000	16,074
2008/09年度通常会計より繰入	500,000	500,000	発表大会関係費	202,630	300,000	396,670
会員賛助金 ※1	1,000,000	800,000	通信費	100,752	160,000	257,152
祝賀会学生負担分 ※2	90,000	24,000	事務費	21,838	30,000	8,160
利息(1月現在9018円)	9,500	10,404	会議費	105,457	120,000	98,180
			対稲吟会記念贈呈品	122,853	500,000	544,208
			記念品(参加者・来客に頒布)	106,050	200,000	175,219
			表彰関係費	105,652	100,000	19,945
			予備費	0	127,838	5,030
			関連交流行事費		300,000	42,965
			記録関連		100,000	45,000
			次大会繰越金	2,568,338	1,000,000	2,294,139
			50周年記念誌(編集・発行・頒布)	29,318	1,000,000	0
合計	5,167,838	4,902,742	合計	4,243,507	5,167,838	4,902,742

※1・・・会員79人参加(一人10,000円) 同伴者2人参加(一人5,000円) 計81人参加で800,000

※2・・・8名分(一人3,000円)

3. 役員人事

退任 田尾秀寛 (S44) 副会長 関西支部支部長

新任 行 俊昭 (S62) 副会長 関西支部支部長

顧問 野中民蔵 (S40) 松岡宣夫 (S41) 須田芳矩 (S42) 藤田和夫 (S45) 小出秀文 (S48)

会長 大竹茂行 (H3)

副会長 松村哲郎 (S48) 行 俊昭 (S62 関西支部支部長) 菅原 均 (H4 事務局長)

会計監査 山田仁史 (H1)

事務局 田口勝徳 (H6) 板倉真介 (H10) 金田和歌奈 (H21)

現役担当 片山 俊 (H18) ※ (卒 年) 敬称略※

4. 2011 年度活動計画

★2011 年 (平成 23 年)

2 月 20 日 稲吟 OB 会定例総会 稲吟 OB 会新年会

3 月 稲吟会春練習

3 月～4 月 稲吟会新勧支援 (チラシ 15000 枚作成他)

8 月 5 日 稲吟 OB 会会報 34 号発行 会費請求 事務局

8 月 27 日 稲吟会・OB 会交流行事

8 月 29 日～9 月 2 日 稲吟会夏合宿 (千葉県岩井)

10 月 稲吟会吟詠発表大会 (10 月 29 日で調整中)

12 月 稲吟 OB 会会報 35 号発行・定例総会告知 会費請求 事務局

5. 2011 年度 (2011 年 1 月 1 日～12 月 31 日) 予算案

収入の部			支出の部			
費目	前年度決算	予算案	費目	前年度予算	前年度決算	予算案
前年度繰越金	590,414	1,012,785	対稲吟会支援	120,000	120,000	120,000
年会費*	1,258,000	700,000	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
寄付金	0		稲吟会新勧緊急支援(1)	250,000	237,280	250,000
			通信費	120,000	127,187	120,000
			会報製作費	130,000	126,408	62,000
			広報関係費	10,000	3,390	5,000
			行事関係費	200,000	90,658	100,000
			慶弔費	50,000	11,500	30,000
			役員会議費	50,000	45,000	50,000
			事務局経費	100,000	8,871	20,000
			記念大会特別会計繰入	0	0	350,000
			地方等支援	40,000	0	40,000
			振込手数料	5,000	5,335	5,785
			予備費(2)	5,414	0	500,000
			次年度繰越金	0	1,012,785	
合計	1,848,414	1,712,785	合計	1,140,414	1,848,414	1,712,785

※ 年会費100人想定

(1)本年度も継続

(2)来年度以降も新勧支援が継続できるように。支援内容は都度検討

(3)次回準備金を170万円と想定。繰越金と合わせて予算を確保

6. その他

年会費の適正額について：5,000 円という金額について、他の同窓会団体と比較して、高いのではないか、との意見が寄せられた。しかしながら、現在の納入率（5 割～6 割程度）、支出構成（通常会計・特別会計…会員還元 51.7%・63.3%、学生支援 30%・14.8%、運営費 18.3%・21.9%）より、しばらく現状のまま、ということで承認頂く。

2011 年度 新年会

定例総会終了後、早稲田駅近く 茜どき（早稲田店）にて新年会を開催致しました。総会参加の OB 会員 9 人【敬称略（卒年）石上（S35）、金子（S35）、松岡（S41）、北村（S44）、小林（S44）、松村（S48）、大竹（H3）、菅原（H4）、田口（H6）】に、現役 4 人【大田前副幹事長（4 月無事卒業）、加賀美前幹事長（現在 4 年）、紺谷幹事長（現在 3 年）、木嶋副幹事長（現在 2 年）】が合流。例年に比べさびしい人数でしたが、その分濃密な会話を楽しむ宴となりました。



稲吟会情報

新歓報告

第 56 代執行部幹事長

紺谷弘毅

この度の東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。そして一日も早い被災地域の復興をお祈り申し上げます。

当初新歓は 4 月の入学式に合わせて行われる予定でしたが、震災の影響で入学式の中止と授業開始日の延期が決定し、新歓期間は大幅にずれ込みました。大学からの要請で新歓期間は 4 月 20 日から 4 月 22 日の 3 日間に限定され、大学構内での活動可能時間も 10 時から 16 時までと大幅に制限されてしまい、入学式の中止とも相まって例年に比べて非常に厳しい状況でした。そのような状況下においても会員一丸となり新歓活動とコンパを継続して行い、5 月 6 日の練習見せを経た結果、今年も新入生に来てもらうことができました。

5 月 17 日現在、昼練習に参加してくれている 1 年生は 3 名います。〔藍原くん(文学部)・内田さん(文化構想学部)・前原くん(基幹理工学部)〕例年に比べて一ヶ月遅れの進捗で指導を行っているために、新入生の中にはまだまだ詩吟に慣れていない人もいますが日々の練習や活動を通じて、詩吟や稲吟会の良さを感じてもらえればと思っています。

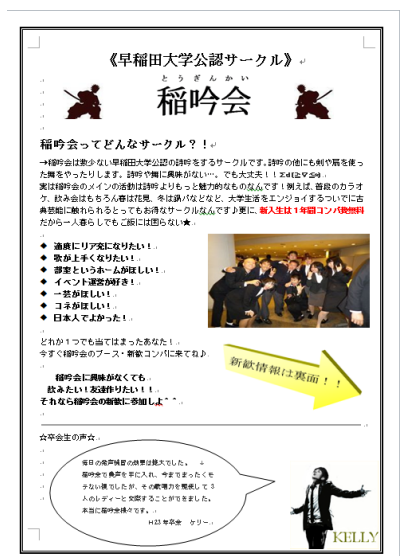
最後に、スケジュールに大幅な変更が生じてしまい様々な対応が後手にまわってしまったことをお詫言すると同時に、困難な状況を理解していただき柔軟な対応と援助をして下さった OB・OG 諸先輩にお礼の言葉を申し上げます。これからもご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



新歓コンパのひとコマ



初練習



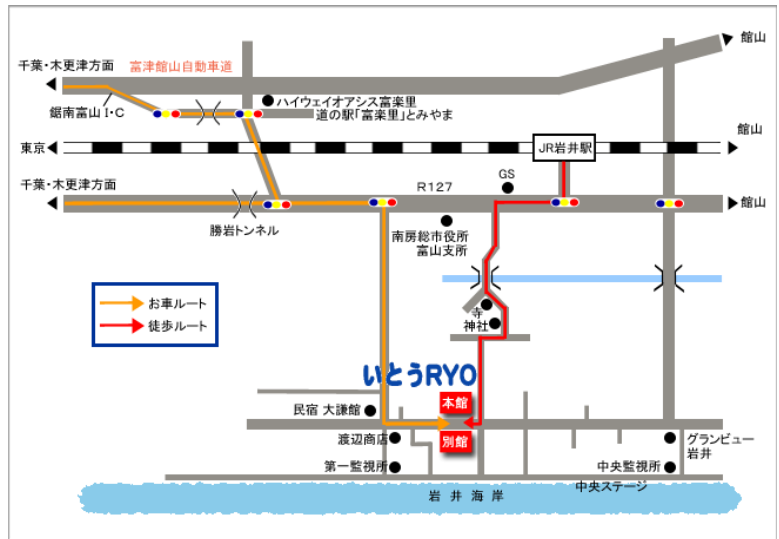
本年は、左の 2 種類のチラシを 7500 枚ずつ作成しました。

稲吟会 夏合宿 日程・開催地決定！！

日程：8月29日（月）～9月2日（金）
合宿地：千葉県岩井『いとうRYO』

〒299-2216 千葉県南房総市久枝 569
電話番号：0470-57-2113
J R 岩井駅より徒歩 12 分（内房線）
<http://www.itoryo.com/index.html>

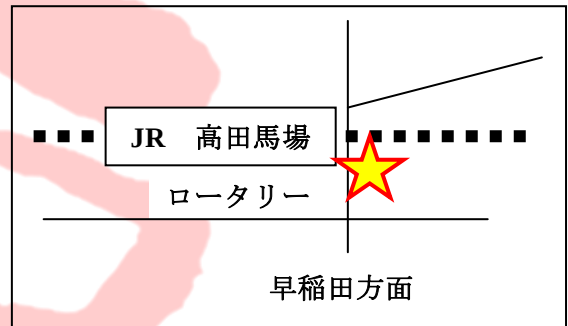
入学式が遅れた影響で、夏休みがまだ始まっていない・・・。
そんな現役諸君に是非応援を！！



稲吟会・OB 会交流会 のご案内

本年も現役との交流会を企画致しました。
報告の通り、新勸を通して3人の新人を迎え、益々盛んな現役諸君に会いに来てください！
奮ってのご参加お待ち申し上げます。
(OB 会事務局 菅原 均)

日時：8月27日（土）19：00
カジュアルチャイニーズレストラン
『石庫門』 高田馬場店
（去年と同じ会場です。）
東京都新宿区高田馬場 2-18-11 稲門ビル B1
TEL 03-5292-1991
会費 5,000 円



※※ 同封の返信用ハガキを8月20日（土）までご投函下さい ※※



◆◆ 事務局から ◆◆

■ご訃報

S34 年卒 丸森 隆吾さん 2011 年 7 月 12 日 ご逝去

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

※名簿の内容について変更御座いましたら、meibo@togin.org までお知らせください。※

◆◆年会費（5,000 円）の振込みお願い致します！◆◆

※卒後 3 年までは 4,000 円です。※

振込先 ゆうちょ銀行 口座名 早稲田大学稲吟OB会 振替 00150-7-61740

振込用紙を同封します

《他の金融機関からの振込の場合…》

ゆうちょ銀行(金融機関コード 9900) 店番 019

店名 〇一九(ゼロイチキョウ)店 預金種別 当座、

口座番号 0061740 受取人名 ワセダダイガクトウギン OB カイ

都市銀行からのモバイルバンキングでの振込みも可能となりました。お試しください。

※ご本人の納入状況は、稲吟OB会事務局会計幹事の板倉真介(平10)に電子メール(kaikei@togin.org)もしくは往復はがきでお問合せください。往復はがきの場合は、ご自身の氏名、住所、卒業年度を返信面に記入の上、板倉までお送りください。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。※

担当より

○現役の 35 周年の際、大変お世話になった丸森さんの訃報、10 年前仕事で担当していた岩手沿岸の被災など複雑な気持ちでの編集でした。

○そんな中、会報だけでも明るい感じにしたいと思い、早稲田界限の写真を撮ってきました。大学は日曜日も開門されており、立て看板の無い構内は近所の散歩コースになっているようです。

○「吟 在◎◎」。部室のノート「砂粒」、馬場駅の告知板に書かれたサイン。実験で遅く部室に行き、それを見つけた時の気持ち。携帯のない時代の合流の方法は温かいものでした。

平成 23 年 8 月 5 日 菅原 均
(H4 年卒 OB 会事務局)



発行：2011（平成 23）年 8 月 5 日
発行者：早稲田大学稲吟 OB 会事務局

編集発行責任者：菅原 均（稲吟 OB 会事務局）
早稲田大学稲吟 OB 会会報 通巻第 34 号

稲吟会ホームページ <http://www.togin.org/>
稲吟 OB 会 <http://www.togin.org/alumni/> 稲吟会 <http://www.togin.org/toginkai/>